AIチャットボット
セミオーダー型開発のご紹介

すでにあるものを使えるから、

発注しやすい、早い、安い。

既成品をベースにカスタマイズし、
業務に合ったシステムに仕上げます。

2026年10月13日 | P-One合同会社 中村 龍也

チャットボットを作ろうとして、こんな壁に当たっていませんか

どう発注すればいいのかわからない

イメージがわかない

見積りが高く、開発期間も長い

予算の承認が下りない

成果物のイメージがわかない

実績があってもそれを見せてもらえるとは限らない

-> 既成品をベースにカスタマイズするセミオーダー型開発で解決

セミオーダー型開発のメリット

1

モノがすでにあるから
イメージしやすい

2

カスタマイズで済むから
早くて安い

3

『実際にもう作っています』
という安心感

カスタマイズの例

ベース機能 ＋ 社内資料との連携（RAG） → 社内ナレッジ共有AIチャットボットに

※RAG：社内の文書を検索し、その内容をもとにAIが回答する仕組み

既製品の手軽さと、個別開発の自由度をあわせ持つ

ポイント	ゼロから個別開発	セミオーダー
使いはじめるまでの期間	長い	**短い**
初期費用	高い	**抑えられる**
作れるものの自由度	理論上は自由にできる（実際は予算や期間の制約あり）	**既製品を生かせるオーダー限定**

※ ゼロからの個別開発もご相談いただけます。

ベースとなる製品が持つ基本機能

基本的な機能を備え、柔軟なカスタマイズを加えられる汎用チャットボット。

AIチャット

ブラウザを使って簡単に
AIに問い合わせ。
手軽に利用できます。

ユーザー認証

利用できるユーザーを限定し、
見せたくない情報を保護します。

会話履歴

なにを話したか、
後で確認することが可能です。

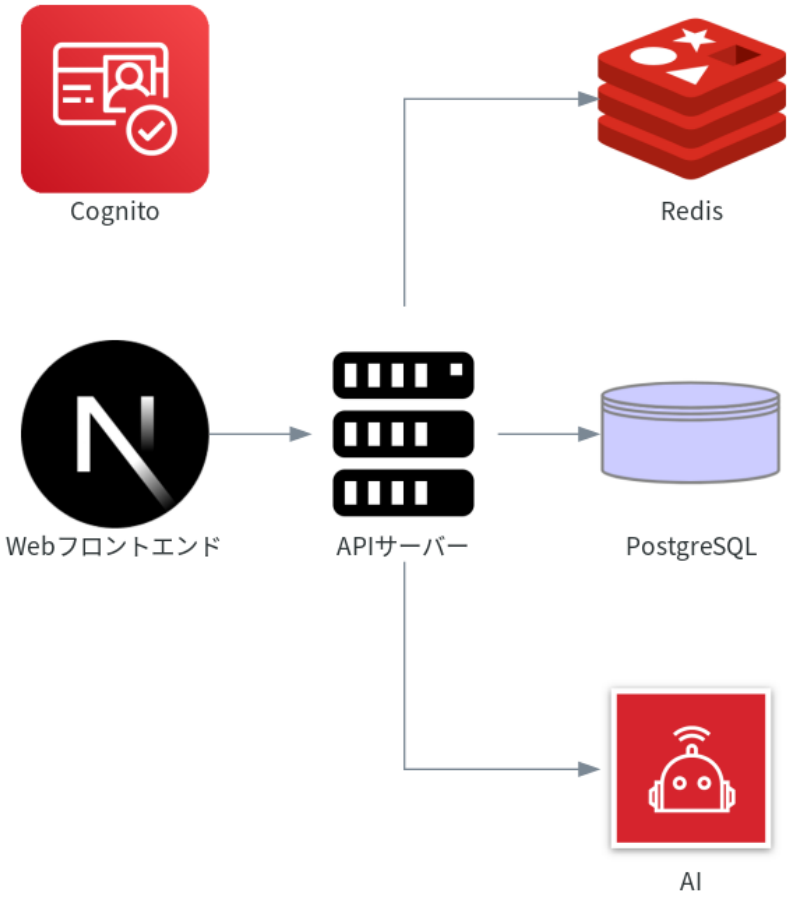
社内情報に接続したAIに繋ぎ込んで、社内のナレッジ検索に。
Q&Aデータベースと連携させて、オペレータのサポート情報検索に。様々な利用方法があります。

システムの基本構成

オーソドックスな3-Tier構成で
変更・拡張が容易

AWS上で動かすことで
運用負荷も最小限に

カスタマイズすることで
独自認証等も利用可能



開発・導入までの流れ

1

無料相談

用途・課題を確認

実現したいことや現在の状況を伺います

2

内容整理・見積り

範囲・費用を提示

進め方と期間もご提案します

3

設計・開発

実装・テスト

進捗や確認事項を共有します

4

本番化・運用

動作確認・リリース

保守・運用支援もご相談いただけます

会社概要

AI駆動開発を強みに代表が直接開発を担当します。

代表＋AI＋スポットエンジニアの体制で、小回りの利く開発を実現します。

会社名

P-One合同会社

代表者名

代表　中村 龍也

事業内容

ITシステムの開発、運用及び販売
コンテンツの制作、運用及び販売他

主な実績

フィンテック企業での生成AI導入・AWS/SRE支援、
ECでのコスト最適化、ゲーム用ツール開発等

※代表個人の実績が含まれます

少人数開発を可能とするAI駆動開発体制

AIによる開発作業を仕組み化。
従来不可能だった高効率を実現します。

AIを徹底活用した開発作業

自動化の仕組みもあわせて用意

データ保護やセキュリティを
念頭に置いたガバナンスが土台に

https://www.prj1.com/governance/ai/

まずは無料相談から

ご相談は無料です。
実現したいことや今の状況を伺い、進め方をご提案します。

お申し込みはフォームから

右のQRコードをスマートフォンで読み取るか、
次のURLからお申し込みください。

https://www.prj1.com/consultation/



相談フォーム